

## 2019 年年次大会 領域 7 インフォーマルミーティング

日時：2019 年 3 月 15 日 12:30～13:30

場所：九州大学伊都キャンパス K306 会場

主催：領域 7（運営委員）

### 議題目次

1. 学生優秀発表賞表彰式
2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介
3. 次期領域代表の紹介
4. 次期領域運営委員の紹介
5. 次々期領域運営委員の選出・承認 [審議事項]
6. メーリングリスト運用に関して
7. 関連会議・シンポジウムの紹介
8. 次回大会について
9. その他（学生優秀発表賞について）

#### 1. 学生優秀発表賞表彰式

領域代表・副代表・運営委員の経験者および候補者からなる 12 名に審査を依頼し、

- ・研究内容（研究の意義、新規性、妥当性）
- ・プレゼンテーション（ポスターの構成、伝わりやすさ、質疑応答）

＋学生優秀発表賞への推薦の観点で審査を行った。

その結果、以下の 3 名を受賞者として選出し、表彰式を行った。

- 14aN-PS-2 祖利目 和明（阪大院基礎工）紫外レーザー光電子分光による有機超伝導体  $\kappa$ -(BEDT-TTF)<sub>2</sub>Cu(NCS)<sub>2</sub> の電子状態研究
- 14aN-PS-10 北尾 貴之（東大院新領域）位相制御中赤外パルス励起による一次元モット絶縁体系のサブサイクル分光
- 14aN-PS-11 金橋 魁利（早大先進）導電性高分子のフェルミレベル制御と熱電変換特性

#### 2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介

領域代表：

竹延 大志（名大院工）（2018 年 4 月 ～ 2019 年 3 月）

領域副代表：

山本 浩史（分子研）（2018 年 4 月 ～ 2019 年 3 月）

領域運営委員：

毛利 真一郎 (立命館大) (2018 年 4 月 ~ 2019 年 3 月)  
川楯 義高 (理研) (2018 年 4 月 ~ 2019 年 3 月)  
菅原 克明 (東北大) (2018 年 10 月 ~ 2019 年 9 月)  
吉見 一慶 (東大物性研) (2018 年 10 月 ~ 2019 年 9 月)

### 3. 次期領域代表・副代表の紹介

次期領域代表：

山本 浩史 先生 (分子研) (任期：2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日)

次期領域副代表：

岡田 晋 先生 (筑波大学) (任期：2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日)

### 4. 次期運営委員の紹介

次期領域運営委員：

菅原 克明 (東北大) (任期: 2018 年 10 月 ~ 2019 年 9 月)

吉見 一慶 (東大物性研) (任期: 2018 年 10 月 ~ 2019 年 9 月)

蓬田 陽平 (首都大) (任期: 2019 年 4 月 ~ 2020 年 3 月)

磯野 貴之 (学習院大) (任期: 2019 年 4 月 ~ 2020 年 3 月)

### 5. 次々期運営委員の選出・承認 [審議事項]

現運営委員により、次々期運営委員として以下の方々を選出し、承認された。

次々期領域運営委員：

大池 広志 先生 (東大) (任期：2019 年 10 月 1 日～ 2020 年 9 月 30 日)

圓谷 貴夫 先生 (熊本大) (任期：2019 年 10 月 1 日～ 2020 年 9 月 30 日)

### 6. メーリングリスト運用に関して

以下の内容を周知した。

#### ■ 現在のメーリングリストの状況

アドレス数上限： 1000

登録アドレス数： 899 (2019 年 3 月 8 日現在)

勝手ながら、講演者のアドレスは運営委員が登録しています。

-----  
・卒業などで使われなくなったアドレスについて削除の連絡をお願いします

・なお、研究室 ML によって登録されているアドレスからは  
bunyu4@r7.div.jps.or.jp, committee\_r7@jps.or.jp への投稿はできません。

(投稿の必要がある場合には、ML に直接登録してあるメールアドレス  
をお持ちの方にお問い合わせるか、運営委員のメールアドレスに直接、ご連絡をお願いします)

### 7. 関連国際会議・シンポジウムの紹介

(1)

The 80th Okazaki conference: “Chirality-induced spin selectivity and its related phenomena (CISS 2019)”

【日程】 2019 年 5 月 15 日(水)－5 月 18 日(土)(投稿締め切り 4 月 28 日: Poster)

【開催場所】 岡崎コンファレンスセンター

(2)

“11<sup>th</sup> Recent progress on graphene and 2D Materials Research” (RPGR)

【日程】 2019 年 10 月 6 日(日)－10 月 10 日(木) (投稿締め切り: 5 月 15 日)

【開催場所】 くにびきメッセ

(3)

“MATERIALS RESEARCH MEETING 2019 (MRS-J)”

【日程】 2019 年 12 月 10 日(日)－12 月 14 日(土) (投稿締め切り: 5 月 10 日)

【開催場所】 横浜シンポジア

## 8. 次回大会について

2019 年秋季大会

岐阜大学

2019 年 9 月 10 日(火)～13 日(金)

## 9. その他

学生優秀発表賞について、これまでの経緯および他領域の動向を報告し、意見を募集した。

これまでの経緯:

- ・ 2016 年秋季大会から大学生・大学院生等を対象とした優秀ポスター賞の表彰を実施(秋季大会のみ)。

- ・ 2018 年秋季大会から物理学会の正式な賞となり、「学生優秀発表賞」と名称が変更。

- ・ 春季大会にポスターセッションと学生賞を設けることで、領域 7 における大学院生の発表数増加、議論・情報交換の活性化を目指す。今回から年次大会でも実施。

- ・ 現在はポスター発表のみを対象に、学会発表申込時に申請した者に対し審査を行っている。

- ・ 最近の発表件数の推移は以下のようになっている。

| 年度      | 会場    | 合計  | オーラル | ポスター | 学生賞<br>(ポスター賞) |
|---------|-------|-----|------|------|----------------|
| 2015 年春 | 早稲田大  | 137 | 137  | -    | -              |
| 2015 年秋 | 関西大   | 134 | 134  | -    | -              |
| 2016 年春 | 東北学院大 | 136 | 136  | -    | -              |
| 2016 年秋 | 金沢大   | 155 | 119  | 36   | 3              |
| 2017 年春 | 大阪大   | 125 | 125  | -    | -              |
| 2017 年秋 | 岩手大   | 140 | 104  | 36   | 3              |
| 2018 年春 | 東京理科大 | 128 | 128  | -    | -              |

|         |      |     |    |    |   |
|---------|------|-----|----|----|---|
| 2018 年秋 | 同志社大 | 125 | 97 | 28 | 2 |
| 2019 年春 | 九州大  | 106 | 82 | 24 | 3 |

他領域の動向:

- ・調査した範囲で口頭とポスターを両方実施している領域はない。
- ・調査した 5 領域（領域 3,4,5,6,8）のうち領域 5 以外は口頭発表のみで学生賞を審査している。
- ・本領域同様に年次大会、秋季大会の両方で実施しているのは、領域 4 と領域 6（口頭発表で審査）。
- ・審査員の確保には、学生が賞に応募している教員や座長、運営委員を当てている。
- ・2 段階審査を課している例（領域 8）や論文を参考にする例も（領域 3）。

以上のように、現状では全領域でばらばらな方式で賞の選定が行なわれている。

運営委員の提案:

- ・口頭発表での審査に関しては他の領域も導入したばかりでやり方もばらばらである。分野の構成の近い領域の実施結果を参考にして、来年度以降導入すべきかどうかを検討する。よって次年度はポスター発表での審査を年 2 回行う現行方式を実施し、その効果について検証する。

本件について意見を募集したが会場から特に意見は出ず、運営委員からの提案が承認された。

最後に運営全般に関する意見・コメントを募ったところ、以下の質疑応答があった。

質問:

最近、科研費の課題名を冠したシンポジウムが開催されているが、シンポジウムが特定研究グループの成果発表会となることは禁じられていたと記憶している。そのルールが変わったのか？

回答:

一般のシンポジウムについてはそのルールは変わっていませんが、2018 年の年次大会から共催シンポジウムという枠が新設され、共催費を支払うことで特定研究グループによるシンポジウムが可能となりました。